



2024年度 3月3日発行
社会福祉法人尚徳福祉会
保育園与那原ベアーズ1

早いもので今年度も残り1カ月となりました。この1年で子どもたちは、体も心も大きく成長しましたね！保護者の皆様も、急な体調の変化でのお迎え対応や受診等にご協力くださりありがとうございました。新年度に向けて、歯科健診や内科健診で治療を勧められた方は、早目に治療しておきましょう。また、靴や衣類等、お子さまの成長に合わせて、サイズの見直しをしていただければと思います。よろしくお願い致します！

《先月の感染症情報》

なし

児童健康記録へ追加記入のお願い

入園時や昨年度末にご記入頂いた「児童健康記録」のコピーを保護者の方にお渡しします。予防接種状況や感染症既往、町での健診の有無等、追加記入をお願いします。

まだ受けていない定期予防接種がある方は、主治医と相談しながら接種を進めるようにしましょう。

記入方法が不明な場合は、お声かけください。



3月3日は耳の日



しんしゅつせいちゅうえん
滲出性中耳炎という病気を聞いたことはありますか？鼓膜の奥に液体がたまり、耳がふさがったような感じ、聞えが悪くなるなどの症状が起ります。お子さんに多い中耳炎で、1歳までに50%以上、2歳までに60%以上、小学校に入るまでに90%のこどもが1回はかかるといわれます。

一般的に、「中耳炎」というと、発熱や痛みを伴う「急性中耳炎」が想像されますが、滲出性中耳炎は痛みがほとんどありません。無症状で気づかれないことも多く、そのままにしておくと難聴による言語や学習への影響、鼓膜の変化が残ることもあります。

耳を気にして触る、頭を振る、呼びかけへの反応が鈍くなるなどの行動や態度でわかることがあります。こどもの気になる仕草が見られる時は耳鼻科などを受診しましょう。

こどもの滲出性中耳炎にかかりやすくなるきっかけとしては、風邪、アレルギー性鼻炎を含む副鼻腔炎などがあります。また、こどもの滲出性中耳炎の多くは急性中耳炎をきっかけに見つかります。中耳炎は、完全に治るまできちんと治療を受けましょう。

足の成長と靴

自分の体を支える足を健康に成長させるには、足を使うこと、靴の選び方と履かせ方がとても大切です。3歳頃までは、脂肪がクッションとなり守られていて、4歳頃から硬い骨へと成長し、骨が完成するのは18歳頃です。土踏まちは2歳過ぎた頃からゆっくりでき始め、4歳に完成するといわれています。足の大きさは半年で5mm程度、1年で約1cm成長します。すぐに大きくなるからと言って大きめの靴を選ぶと、靴の中で足が遊び、上手に歩いたり動いたりできません。つま先に1cm程度の余裕があるといいでしょう。また、小さいこどもは、靴がきついと訴えることができません。指先が靴のつま先にあたっていないか、進級を前にチェックしてみましょう。

